

2011年11月28日

JIRA主催の第1回画像医療システム産業研究会開催

産・官・学の立場から医療機器産業の方向性を討議

JIRA(日本画像医療システム工業会)主催の「第1回画像医療システム産業研究会」が、11月11日全国家電会館(東京・文京区)で開催された。

加藤久豊JIRA会長は、主旨説明の中で、「医療・行政・産業の立場から討議を行い、産業活性化の方向を探っていくのが研究会の主旨であり、今後継続していく」と述べた。

森山紀之氏(国立がん研究センター)は「画像診断の最新動向および産業界への期待と課題」の中で、画像診断機器の歴史や企業と共同開発を進めていく医療側の今後を述べた。

藤本康二氏(経済産業省)は、ヘルスケア産業の発展施策を、国際化を含めた医療産業ビジネスモデルの中で説明、関野秀人氏(厚生労働省)は、医療機器産業政策での同省の基本的スタンスや承認審査の迅速化(アクションプログラム)を解説した。

総合討論では、小松研一(東芝メディカルシステムズ)、田中 弘(富士フイルム)、芦野靖夫(エレクトラ)、佐藤公悦(トーレック)の各氏が、画像診断機器・画像システム・放射線治療・中小企業サイドから今後の産業発展に向けた所信を述べた。

以上

＝新医療＝